

平成二十一年度卒業論文・修士論文題目 (氏名 論文題目)

【卒業論文】

〔村田ゼミ〕

日本語学

原田 優美

「ほとり」「かたはら」「そば」の意味領域

域

〔灰谷ゼミ〕

日本語学

青木 恵

しまなみ海道域方言における疑問表現イントネーションの研究

乾 恋子

沖縄県宮古島方言における待遇表現の変容についての研究

濱田 忠明

広島県呉市域における方言対立状況についての研究

岸田 萌

南薩摩地域方言の形と量の語彙に関する意味論的研究

桑原 彩香

公共標示物による行動要求表現の類型と機能についての研究

〔熊本ゼミ〕

平安文学

松岡麻奈美

『落窪物語』「巻四」の存在

—女君の幸福—

野々垣 悠

『源氏物語』—六条御息所について—

杉原 朱美

『とりかへばや物語』の女君

—その心情表現から—

佐藤ゆかり

『源氏物語』夕顔考

奥田 知佳

多武峯少将物語

—残された女たちの悲劇—

〔藤川ゼミ〕

中世文学

西野 優美

『徽安門院一条集』について

荒木 千恵

『今昔物語集』と『宇治拾遺物語』の鬼

について

松田 啓佑

『平家物語』における記事

—延慶本と寛一本の比較を中心に—

〔藤沢ゼミ〕

近世文学

西岡優美子

『料理献立手品伝授』の翻刻

大西 華織

翻刻『夕霧書替文章』

行宗 孝太

『雲妙間雨夜月』の考察

人見 洋香

『優曇華物語』論

益永 恵子

近世笑話の研究

小瀬木京介

『西鶴諸国はなし』「紫女」攷

〔槇林ゼミ〕

近現代文学

池田 愛香

豊島ミホ論

近藤 薫
―前期作品分析を中心とする―
井伏鱒二研究―中間小説を通して―
後藤久留美
上橋菜穂子研究

藤枝 友美
―「守り人・旅人シリーズ」考―
京極夏彦『陰摩羅鬼の瑕』研究

七田 拓哉
「人間失格」研究

〔柴ゼミ〕
近現代文学

奥田 靖菜
橋本治と古典現代語訳
―『絵本徒然草』についての考察―

〔寺杣ゼミ〕
近現代文学

湯浅麻衣子
星新一研究
―その生涯と一〇〇一話の作品分析―

松下 祐子
「貝の火」研究

野口 愛美
木山捷平研究―『かなかな』を中心に―

塩崎 智子
志賀直哉「范の犯罪」研究

―「范の犯罪」に見る志賀直哉の倫理観
と女性観―

有吉 佐代
志賀直哉「クローディアスの日記」研究

〔鷹橋ゼミ〕
中国文学

奥田 慧
『三侠五義』について
『聊齋志異』の諧謔性について

大木 瑞穂
『西遊記』研究

―孫悟空の心境について―

大垣 歩
陶淵明の田園生活

〔光原ゼミ〕
創作

森元 瑠衣
クマさんとゆい

宮本 真里
つがいの糸

calling

古山 結
パレット

原田 朋代
エンド・ステージ

黒田 直樹
ナナメウエ水族館にびったりな日

倉垣 裕太
ニュー・プロヴィデンス

大場 賀輝
星張る空に

大橋 良平
潮待ち

梅田 勇貴
真名師

南 優香
ティナの檻

笠井 彰子
創作 近現代文学

友原由美子
『銀河鉄道の夜』における擬人化表現

赤井 将人
『ニューヨーク三部作』から見る『クリ
スマス・テロル』

椿事すけっち

どこ行くの？ぼうし

安藤 鈴子
「おのみち商店街ものがたり」ができる
まで

市山 朋枝
―絵本のちからプロジェクトによる地
域連携システムの構築と実践例―

上杉 和太

上松沙也加
櫻井絵里子

島田 昌長

母と娘の絆―漫画の中の「母殺し」―
ドラマ『白い巨塔』におけるオリジナル
キャラクターの役割、必要性について
隠れん坊

【修士論文】

都濃 法安
磯合 潤

意思決定について
大岡昇平「野火」研究―精神と生―